

## 将来を見据えた警察組織の構造改革及び優秀な警察官の確保に向けた指針等について

### 1 「警戒の空白を生じさせないための組織運営」の総括

- 集中取組期間（令和5～7年度）において、主に重点7項目に対して人的リソースを重点化するとともに、業務の効率化・合理化を実施
- 現下の治安課題に対して的確に対処するための体制が構築されるとともに、警察力最適化サイクルが定着しつつあると評価

### 2 2つの課題

- 治安課題の専門化・高度化・広域化・国際化、国家安全保障との境界の相対化
  - 少子高齢化・人口減少等を背景とした警察官の採用情勢の厳しさ
- という2つの課題を踏まえ、以下の対応が必要
- リソースの広域的運用について、警察庁が積極的な役割を果たす
  - 警察の組織構造を弾力化し、業務を更に高度化・効率化・合理化
  - 多様な人材を安定的に確保

### 3 4本柱の構造改革

#### (1) 警察庁と都道府県警察及び都道府県警察等間の連携の在り方の見直し

- 匿名・流動型犯罪グループによる犯罪、サイバー事案等の対応への警察庁の積極的関与
- 警察学校、警察用航空機等の広域的運用 等

#### (2) 都道府県警察の内部における役割分担の見直し

警察本部と警察署の役割分担や警察署の運用の見直し 等

#### (3) 科学技術の進展等を踏まえた業務の効率化・合理化と業務負担の軽減

警察共通基盤、AI、カメラ映像等の活用による業務の効率化・合理化 等

#### (4) 関係機関・団体等との連携強化等による業務のスリム化等

### 4 3本柱の人材確保

#### (1) 組織の魅力向上

業務やキャリアパス等の魅力向上、時代に即した警察学校の運営 等

#### (2) 若い世代への発信力強化

SNSによる情報発信の強化、アニメ・マンガ・ドラマ等とタイアップした広報の実施 等

#### (3) 採用の間口拡大

公務員試験に特化した対策を要さない試験の導入、社会人経験者の採用の推進 等